

正確な連結冠を製作するための工程

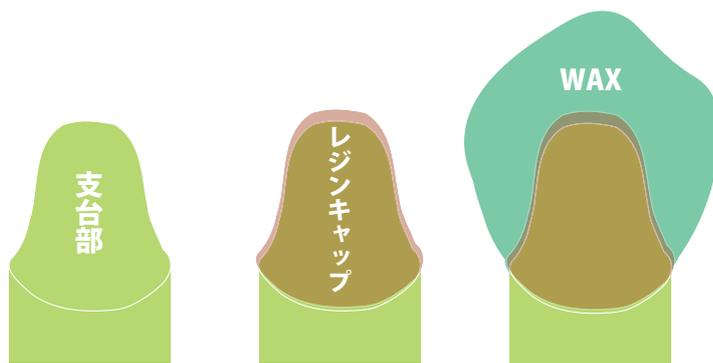
バーンアウト法による補綴物製作の場合

- ① かならず一旦単冠で仕上げる。
- ② アバットメントと冠を口腔内に装着する。その際にフィットテスターによって適合も確認し、さらに個々が回転しないかも確認。
- ③ パターンレジンで連結部、咬合面、唇側、舌側を覆い、さらに維持溝を形成した金属バーをわたして固定する。アンダーカットにもレジンを盛り、抜き上げられるようにする。(咬合面がしっかり覆われるようボタ盛りするケースが多い)
- ④ シリコン印象材で印象採得し、印象内に冠が取り込まれるようにする。
- ⑤ 冠内面にレジンを注入し、レジンの支台にしたうえで石膏模型を仕上げる。

セメント固定式クラウンのマージン適合を高める方法

バーンアウト法による補綴物製作の場合

マージン部の厚みが可能な限り均一な厚みになるようアバットメントを調整し、パターンレジンを用いてマージン部までキャップを製作。マージン部はシリコンポイントで整える。ただし不足分はWAXで仕上げる。パターンレジンを用いることで、操作中の変形を抑える。



情報提供・協力：UDB 技工所 藤森伸氏